



JA十和田おいらせ 広報誌

Agressh

3 2023 月号 No.156

地域と農業を結ぶ、ふれあいと絆の発信源“あぐれっしゅ”

Agressh

3 2023 月号 No.156

JA十和田おいらせ



特集 組織代表者との懇談会
要望集約し、JA事業と組織活動への反映へ

二重マスの文字をA~Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

1	5	8		14		21
	6			15	18	D
2			12		19	
		9		A	16	
3	7		13		20	
4		10		17		
		11				C

正解者プレゼント

応募者の中から抽選で10名の方に当選者発表は賞品の発送をもって代させていただきます。



先月号答え ABCDE
イチゴガリ

応募総数: 104通

ヒ	ガ	ン	ホ	タ	ル
シ	マ	ス	ラ	イ	ス
モ	ン	ダ	イ	ヤ	
チ	リ	リ	ク	ハ	
ト	ヨ	コ	ハ	マ	
ミ	チ	ス	ウ	タ	グ
ス	ギ	ナ	ナ	ゴ	リ

頭の体操 クロスワードパズル

出題/ニコリ

ヨコのカギ

1. 唱歌「花」に歌われている川
2. 写真などを撮影するための施設
3. ラクダやアルパカに似たアンデス地方の動物
4. クジラより小さめです
5. 4月なのに冷えるなあ、一の戻りかな
6. 書類の何を書かれていない部分
7. 新1年生の皆さん、ご一おめでとう！
8. 鹿舎(はせう)類は実温動物、ほ乳類は 動物
9. 1, 3, 5, 7, 9.....
10. 日本人の主食です
11. 船を巻きます

タテのカギ

1. 野球のBSOのS
2. 敵ではありません
3. 正しい答えに付けるマーク
4. 遠くて近きは ー の仲
5. シオマネキセこの仲間です
6. 得意なせの。漢字で書くと十八番
7. 体温計を挟みます
8. 空弁(そらべん)が売られている所
9. 田畑を耕す道具の1つ
10. ギリシヤ文字の最後の字、Ω、ωと書きます
11. 選抜高等学校野球大会の会場です

応募方法

下記必要事項をご記入のうえ、

郵便またはFAX、ホームページからご応募ください

1. クイズの答え
2. 郵便番号・住所・電話番号
3. お名前(フリガナ)・年齢・性別
4. ご意見・ご感想をお寄せください

応募締切: 2023.3月31日(金) (当日消印有効)

【郵便ハガキ】
〒034-0081
青森県十和田市西十三番町4-28
JA十和田おいらせ 企画広報課

【FAX】
0176-24-1829
おかけ間違いにご注意ください

【ホームページ】あぐれっしゅリンクページ
<https://www.jatowada-o.or.jp/>

※頂いた個人情報は、このたびの用途以外は一切使用しません。



お年玉ピックプレゼント付き

当選者発表

JA本店で2月10日、あぐれっしゅ1月号「お年玉ピックプレゼント付きクイズ」の抽選会を行いました。応募総数266通の中から畠山一男組合長が引き当てて当選者15人が決定しました。

特賞に当選された田上トセさんと中野渡清喜さんには2月27日、賞品の「十和田湖和牛すきやき肉セット」をお届けしました。田上さんは「まさか当選するなんてビックリ!おいしくいただきます」中野渡さんは「かわいい孫たちにたくさん食べさせたい」と笑顔を見せていました。



抽選箱



▲杉山十和田湖支店長からお肉を受け取った田上さん



▲お肉を手に笑顔を見せる中野渡さん

その他の当選者発表は、賞品のお届けをもって代させていただきます。たくさんのご応募ありがとうございました。

■JA本店 青森県十和田市西十三番町4-28 TEL.0176-24-0311 FAX.0176-24-1829
 ■電話 JA十和田 2023年 2月号 当選者発表会 公開ホームページ <https://www.jatowada-o.or.jp/>
 ■Email journal@jatowada-o.or.jp ■店舗 ホームページ



みちのく episode 7
農紀行
 わたしの歩む道

かわた まさと きよこ
 藤坂支店管内 川田 正人さん 50歳 聖子さん 56歳
 かだあ〜れ出荷会員
 家族構成：正人さん、聖子さん
 農業経営：コマツナ、サントウナ ビニールハウス37m×6棟(5〜6回転/年)

18年が経ちます。 聖子さん 夫の移住する決意は固まっ
 ていました。知らない土地で生活が保
 障されているわけでもないし嫌だなと。
 正直、別れることも考えましたが、一度
 行ってみて、耐えられなかったら帰って
 くれればいかなと私も決意し、移住して

歩み 正人さん 就農前は一人とも、三重県
 でサラリーマンをしていて、農業とは関
 わりのない仕事をしていました。父はよ
 く田舎暮らしの本を見ていたのですが、
 温泉施設がそのまま売りに出てしまし
 た。その温泉施設が今あるこの場所だ
 ます。父と母、弟が移住し、農業を始め
 たのがきっかけでした。私もたまに手伝
 いに来ていたのですが、ある日、堆肥を
 まいた時に、土からふわっと湯気が上が
 るのを見て、言葉では言い表せない自然
 の力を感じました。その時にとも心が
 揺さぶられて「農業をやろう」と思いま
 した。

現在 正人さん 妻と2人で「コマツナとサン
 トウナを周年栽培し、主に「かだあ〜れ」
 や道の駅などに出荷しています。温泉
 水を使ったかん水と有機的な土づくり
 にこだわっていて、甘くてエグミが少な
 いシャキシャキした食感が自慢です。店
 先で出荷を待つてくれるお客さんとい
 て、「いつも買っています」「川田さんのコ
 マツナは食べやすくておいしい」と直接
 聞けることが嬉しです。

こだわりの温泉水
 わたしたちの野菜にしか出せない味

思い 聖子さん 隣の畑から害虫が湧いて、1
 棟分が全滅したり、水害で腐ってしまった
 り大変なことももちろん多くありまし
 た。「コマツナやサントウナは年々作ではな
 く、回転しながら作業するので比較的作
 りやすく、私たちに合っているのかなと
 思っています。

未来 正人さん 当たり前前に水害が発生する
 ようになってきたので、対策をしなが
 ら安定した出荷をしていきたいです。
 就農前は貧血気味でしたが、コマツナ
 を作り、食べるようになってから改善
 してきたように感じています。皆さん
 にも一度食べてもらい、おいしさを感じ
 てもらえたら嬉しいなと思います。
 今後は、ほかの品目にも挑戦しながら、
 楽しんで農業を続けていきます。



負けない団結力!我がナガイモFamily

アマリリス咲きました♥



温かいうちにパック詰め。急げー!(P9参照)



豊作の一年になりますように(P9参照)



餅つきペタン! (P9参照)



管内の笑顔を収穫



畑でみっけ

未来に残したい農風景やおいしい顔、
 農業仲間とのひと時など、
 「食」と「農」に関する写真をお寄せください♪

- ①お名前(ペンネーム可) ②写真のタイトル
 - ③撮影時の様子 ④撮影場所
- 上記と合わせてメールでお送りください

E-mail kikaku@jatowada-o.or.jp

大募集!!



おいしそうなお弁当がスラリ!
 (横浜町支店職員持参)

目次 — 弥生

楽しむ管内の笑顔を収穫 畑でみっけ 2

話題みちのく農紀行 川田正人さん (藤坂支店管内) 3

特集 組織代表者との懇談会 要望集約しJA事業と組織活動への反映へ 4

ニュース Photo News 7

教えます 読者の要望に応えます! 十和田市の郷土発酵食「ごど」の作り方を伝授 11

料理 好評につき第2弾! 野菜が主役!あつあつ鍋 12

学ぼう 知ろう 支えよう 認知症 14

お知らせ 情報掲示板 15

お知らせ かねあ〜れ情報 18

紹介 わたしの推し弁 19

楽しむ クロスワードパズル 20

Agresh

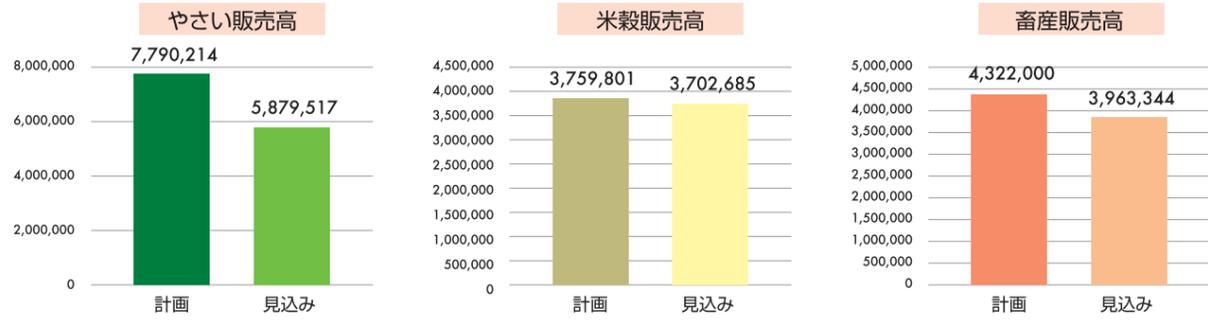
2023 月号 No.156

公式ホームページ

Facebook

2022年度の農畜産物の年間販売見通し (1月末現在3月末見込み)

(単位:千円)



意見・要望・質疑応答

- Q1** 生産資材の価格高騰に伴い、低価格肥料の検討はしていますか。
- A1** オーダーメイドによる肥料はフレコン等により、通常より3割程度安価で販売しています。
- Q2** 予約注文した肥料で足りず、支店窓口等で購入した分についても予約と同じ12月支払いにできませんか。
- A2** 今後検討します。
- Q3** 平成22年から令和3年の間に約3千人の正組合員が減少している。現在62%が60歳以上と考えた時に、5年後や10年後には、さらに正組合員は減少していくと予想されます。今後の組合員減少への対策を教えてください。
- A3** 不在組合員を2年かけて整理した際に、1500人程度減少したものが大きな要因です。今後は、同世代の農業従事者を複数組合員制による正組合員として加入していただくことに取り組んでいきます。准組合員については、ファーマーズ・マーケット「かだあくれ」の会員募集と合わせて加入の推進を行っています。



- Q4** 一次産業について、生産コストが単価へ反映されていないと感じます。若い担い手の生産意欲を維持するための対策を教えてください。
- A4** 大規模経営者や営農組織も一つの担い手として、耕作地を引き継いでいく存在であります。全国の担い手が実践している栽培方法や技術を参考にしながら、生産性の向上につなげ、生産意欲の維持につなげていきたいと考えます。
- Q5** 電気料などが高騰する中、JAの野菜施設や米施設の運営は現状の利用料でまかなえるのですか。
- A5** 利用料について現在、協議中であり、2月の理事会において方向性を決定する予定です。
- Q6** 輸出による米や野菜の販売価格について教えてください。
- A6** 国内と同等の販売価格となっております。輸出は需給バランスによって価格が決定します。あわせて、外国に販売する場合には、販売先の栽培管理方法に基づいた生産が必要となります。今後は、徐々に輸出事業についても強化されていくと考えます。

特集
組織代表者との懇談会

要望集約しJA事業と組織活動への反映へ

JA本店で2月15日、JA生産・協力組織代表者と岡山一男組合長ら常勤理事、JA職員との懇談会を開きました。代表者の意見や要望を聞き、令和5年度のJA事業や組織活動に反映させるものです。

あいさつで岡山組合長は「絶え間のない自己改革と消費者に対する食料・農業の理解醸成を図りながら、農業者の再生産意欲向上と所得の増大につなげ、この難局を打開したい」と話しました。

今回の特集では、各組合員組織の取り組みや要望、当日の質疑応答を紹介します。

重点取り組み

- 花き振興会 (会員数 16名)**
- 花きの産地づくりに向けた振興策に取り組む
- 青年部 (会員数 217名)**
- 青年部本部の活動活性化に向けた事業に取り組む
 - 青森県農協青年部協議会、上北地区農協青年部連絡協議会との連携した事業活動に取り組む
 - 組合員・地域住民へ「農業の大切さ」を広くアピールする広報事業に取り組む
- 要望**
- 婚活事業に対して、さらなる助成をお願いしたい
- 女性部 (会員数 452名)**
- 女性部組織活性化に向けた事業に取り組む
 - 「食と農」を基軸とした活動の実践に取り組む
- 畜産後継者の会 (会員数 19名)**
- 会員相互の連携強化及び管理技術や経営理論等の習得に取り組む
 - 規模拡大や自立経営に向けた検討をする
- 要望**
- 飼料や素牛などあらゆるものの価格が高騰しているが、販売価格は一向に上がらない。経営危機に直面している畜産農家も多くいるので、販売努力をお願いしたい。
- 野菜振興会 (会員数 1,523名)**
- 主力品目の生産量拡大と系統出荷率の向上に努める
 - 土壌診断の活用とミネラル野菜栽培の普及拡大を図る
 - 担い手確保対策としての取り組み強化を図る
- 稲作振興会 (会員数 1,134名)**
- 令和4年産コメ政策を有効活用する
 - 稲作生産の低コスト化を図る
 - GAP(農業生産工程管理)へ取り組む
- 畜産振興会 (会員数 247名)**
- 【繁殖牛】**
- 優良雌牛の保留(ゲノム解析)に取り組む
 - 優良子牛の生産に取り組む
 - 分娩間隔の短縮に取り組む
 - 繁殖農家及び飼養頭数の減少対策に取り組む
- 【肥育牛】**
- 十和田湖和牛の銘柄確立に取り組む
 - 市場価格の高い枝肉生産に取り組む
 - 地元直売所と連携し、十和田湖和牛の販売に努める
- 【酪農】**
- 畜産環境・衛生問題に取り組む
 - 伝染病対策に取り組む
 - 生産コストの低減に取り組む
- 果樹振興会 (会員数 48名)**
- リンゴ栽培技術の向上を目指し、高品質・安定生産で生産者所得の向上に取り組む
 - ブルーベリー栽培技術の向上と収量及び系統出荷率増加に取り組む



▲トマトの販売概況を確認する生産農家

2/1 12月 高値取引続き販売実績 1億9,700万円(前年比率122%)

野菜振興会とまと専門部会は、本店で令和4年産トマト実績検討会を開き、生産農家ら30人が出席しました。8月の記録的豪雨の影響で、ハウスへの浸水による収量減が懸念されたものの、その後は天候に恵まれ、樹勢も回復。出荷数量は前年比99%の566トンキープし、高値取引が続いたことで、販売実績は前年度比122%の1億9700万円となりました。

令和5年産も生育ステージごとに現地講習会を開き、安定した収量と品質の出荷を目指していきます。さらに、下位等級品は小箱やスタンドバック、産地バックを活用しながら、需要ニーズに対応した販売展開を継続していくことを確認しました。優良トマト生産者表彰の受賞者は次のとおりです。

- 【販売額の部】 最優秀賞…福村みい子
優秀賞…瀬川博文 優良賞…作田安喜男
- 【単収の部】 最優秀賞…久保哲郎
優秀賞…竹内松蔵 優良賞…川村和仁
- 【A品率の部】 最優秀賞…川村和仁
優秀賞…気田勉 優良賞…高田一
—敬称略



▲優良生産者表彰を受賞した生産農家

2/14 13月 ナガイモ実績検討会 販売額15億3千万円にとどまる

野菜振興会ながいも専門部会は、本店で令和4年度実績検討会を開き、生産農家ら110人が参加しました。令和3年産は、肥大期の天候不順などによる奇形が散見され、出荷数量は7142トン、販売金額は前年度比94%の15億3千万円にとどまりました。近年、水害が多発していることから、排水対策等を徹底していくことを確認しました。

青森県「ながいもの達人」の寺澤和夫専門部会長は「自分のほ場の性質を知り、種いもの選抜を的確にすることが良質なナガイモを作る第一歩。切いもや排水対策を取り入れながら、確実な収量と品質につなげてほしい」と呼び掛けました。生産者表彰の受賞者は次のとおりです。

- 【品評会】 最優秀賞…立崎洋史(大深内)
優秀賞…田高和也(三本木) 優良賞…織川二郎(七戸)
- 【3.6作戦100%掘り共励会】
最優秀賞…田高和也(三本木)
10㎡あたりの収量3.77トン、AB品率61%
特別賞…大久保利美(三本木) —敬称略



▲排水対策や切いも活用について学ぶ生産者



▲生産者表彰で受賞した生産農家ら

JA独自支援対策 農家の皆さんを応援します！



令和5年度産地拡大対策事業の実施 申込農家へ総額2,000万円助成

1. 労働力対策(作業機械購入助成)【継続5年目】

1. 対象品目 … ニンニク、ネギ
2. 対象作業機械 … ニンニク植付機及びニンニク収穫機(1条掘りコンバイン型、又は4条引き抜き方式)ネギ収穫機(1条掘り)
3. 助成上限金額 … 1戸当たり1台 購入価格の4/10または1,000,000円のいずれか低い額
4. 事業規模 … 10台(ニンニク機械・ネギ収穫機合わせて)

2. 種苗費等助成

1. ナガイモ優良種苗(ムカゴ)助成【継続】
JAより購入したムカゴ代金の一部として1kgあたり1,000円(消費税別)を助成
※但し、当JAの組合員とし、標準出荷数量(2t/10a)の8割以上の出荷がある生産者を対象とする

3. 健康な土づくり助成(土壌診断料の一部助成)【継続】

- 令和5年度に当JAで実施した土壌診断に対し診断料金の一部として1点あたり750円(消費税別)を助成
1. 対象期間 … 令和5年4月1日～令和6年1月31日受付分
 2. その他 … 助成対象者は当JA組合員又はその家族とする

事業費の総額 20,000,000円(消費税別)



令和5年用営農支援対策

1. 支援内容 … 組合員の令和5年の営農継続のため、次期作の作付け支援として種苗費の一部を助成
2. 対象者 … 令和4年にJAより種苗を購入し生産・販売を行った組合員
3. 支援金額 … 64,200,048円
4. 支払期日 … 令和5年3月下旬



畜産農家飼料高騰支援対策

1. 助成対象 … (1)管内、牛繁殖農家・牛肥育農家・酪農農家で飼料購入者とする
(2)令和4年4月1日～令和4年12月31日の期間に当JAより飼料購入分
2. 助成金額 … 25,725,385円
3. 支払期日 … 令和5年3月下旬

お問い合わせ・お申し込み等は各支店・営農センター・事業所の営農担当まで

2/20 **テレビ埼玉でナガイモPR**

野菜振興会ながいも専門部会の竹島大志副部長は、テレビ埼玉の生放送情報番組「マチコミ」のコーナー「おいさ まるごとマイスター」に出演し、「TOM-VEGEながいも」を紹介しました。

竹島さんは「8月豪雨の影響で、例年に比べて出回る量が少なくなっている。味には自信があるので見かけたらぜひ食べてほしい」とアピール。最後は、MCのダイヤモンドユカイさんの即興ソング「TOM-VEGEながいも」をみんなで歌い、視聴者に消費を呼び掛けました。

番組内で紹介された、野菜ソムリエプロ:タナカトウコさん考案の「ふわとろきんちゃく」の作り方は、当JAのホームページとフェイスブックでご覧いただけます。簡単においしくできますので、ぜひお試しください。



▲(商業利用不可・テレビ埼玉「マチコミ」より)



▲タナカトウコさん考案「ふわとろきんちゃく」

2/11 **「まける日」3年ぶりの開催 つきたて餅を召し上がれ**

JA青年部七戸支部は2月11日、七戸町商店街のイベント「まける日」でつきたての餅を販売しました。支店敷地内で餅米60kgを洗い蒸かして、臼と杵で餅をつき、丁寧に伸ばして切った後はパック詰め。温かいうちに売り場に運び、購入客に提供しました。

3年ぶりの「まける日」開催に、部員は「久しぶりの盟友との活動はとても嬉しいが、手順を忘れてしまった」と苦笑しながらも、手際よく作業をこなしていました。

餅を購入した町内在住の女性は「以前のように目の前で餅つきを見られないのは残念。毎回購入していたので、久しぶりに食べられるのが楽しみ」と笑顔を見せていました。



▲つきたて餅を販売する青年部員

2/15 **待ちわびたえんぶり開催 豊作を祈願**

青森県おいらせ町で春を呼ぶ伝統芸能「百石えんぶり」が3年ぶりに開催されました。同町百石地区の若宮八幡宮での奉納摺りを皮切りに17日までの3日間、今年の豊作を祈願しました。

ももいし支店には17日、百石えんぶり組の舞い手30人が門付けに訪れ、烏帽子(えぼし)をかぶった太夫の激しい「摺(す)り」や子ども達の「祝福舞」、大漁を願う「えびす舞」などを約30分披露しました。

百石郷土芸能保存会の小向政治会長は「開催を待ちわびていた。長年続く伝統芸能を絶やすことなく、次世代につないでいきたい」と笑顔で話していました。



▲3年ぶりに開催されたえんぶり

2/8 **補助事業活用でニンジン、ダイコン収穫機24台導入**

野菜振興会は、青森県スマート農業導入支援事業を活用し、ニンジン及びダイコン収穫機を24台導入しました。一括発注することで、より低コストに機械を導入。収穫作業の機械化で、労働時間の削減と栽培面積の拡大を図り、農業の生産性向上を目指します。

この日は、ニンジン収穫機13台とダイコン収穫機11台がももいし野菜センターに集まり、県の担当者が現品確認検査をしました。

導入した収穫機は検査後、順次に生産農家に受け渡しされ、5月下旬から稼働を開始します。



▲導入した収穫機の現品確認検査をする県の担当職員ら



▲ピーマンのは種作業を行うJA職員

2/1 **ピーマンのは種 3月に1万4千本供給へ**

当JAは1月下旬と2月下旬、十和田市農業技術センターでピーマンのは種作業を行いました。専用のプラグトレイに1粒ずつ種を植え付けた後、ビニールハウス内で育苗し、予約した生産農家25戸に95アール分にあたる1万4千本の苗を3月に配付する予定です。JAの共同育苗で苗の供給体制を確立し、農家の労力軽減と良品生産につなげます。

苗の管理をするJA職員は「発芽不良にならないように、温度やかん水作業を徹底し、良質な苗を提供したい」と話しています。

2/28 **経営に・財務について 理解を深める**

畜産後継者の会は、本店で畜産経営に係る勉強会を開きました。集まった後継者11人は、鈴木裕章税理士を講師に、令和5年10月から始まるインボイス制度の仕組みや配合飼料価格の動向、設備投資に利用可能な税制などについて学びました。

鈴木税理士は「飼料高騰における経営へのダメージは大きい。自分の経営・財務状況や利益について知るためには、基本である決算書の読み方を正確に理解することが必要」と話していました。



▲決算書の見方を学ぶ後継者ら

2/2 **おいしさ満点! ナガイモPR**

十和田やさいセンターで、JA全農あおもりが企画するATV青森テレビ「Fresh Vegetable」の収録が行われ、寺澤和夫ながいも専門部長が出演しました(放送:2月10日)。フリーアナウンサーの我満紗千子さんがインタビューやレシピを通して、ナガイモのおいしさをPR。

出演した寺澤部長は「健康な土づくりにこだわって育てている。農家が丹精込めて作ったナガイモを多くの人に食べてほしい」と話していました。



▲ナガイモをPRする寺澤部長(右)と我満アナウンサー(左)